

実証試験の概要

1. 試験内容

i. 実証環境

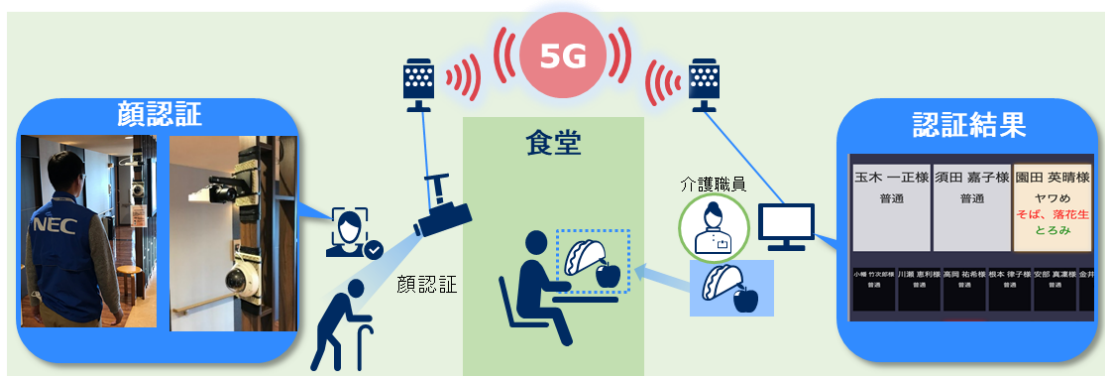
NEC、ドコモ、SOMPOHD、SOMPO ケアが各社の技術を持ち寄り、介護施設「SOMPOケア ラヴィーレ舟入」屋上に 4.55GHz および 4.75GHz の通信エリアを構築し、実証試験を行いました。

ii. 顔認証/禁食アラート

居室から食堂までの動線に設置したカメラで、食堂へ向かう入居者を顔認証によって特定し、事前に登録したデータベースと照合することで、入居者ごとのアレルギーや食事制限の情報を配膳室のディスプレイに表示しました。

高齢の入居者は、意識的にカメラの方向を見てもらうことが難しいため、認証に必要な高画質写真を数多く撮影し、伝送することが必要となります。5Gの低遅延、大容量通信の特性により、最適な写真を逃さず捉えて伝送することで、顔認証を実現しました。

これにより、入居者に合わせた適切な食事を効率的かつ確実に準備することができ、ピーク時の介護職員の業務効率改善に貢献できることを確認しました。



食堂へ向かう入居者を
カメラで撮影

実証システムの概要

顔認証によりデータベースから
来訪者を特定し、アレルギー
などの情報を表示

2. 実施時期

2020年2月3日（月）～2月7日（金）

3. 各社の役割

社名	役割
NEC	顔認証パッケージソフトウェア「NeoFaceKAOATO」 （注1）の提供 禁食アラートディスプレイの提供 5G無線装置（4.5GHz帯）の提供
ドコモ	本実証試験のシステム性能評価およびプロジェクト管理/企画立案 5G技術の提供および分析 食事摂取量システムの提供（注2）
SOMPOHD	企画立案
SOMPO ケア	実証試験環境の提供

（注1） あらかじめデータベースに登録した人物の顔画像と、カメラが捉えた人物の顔画像を高速・高精度に自動照合する顔認証エンジンを搭載した顔認証パッケージソフトウェア。

（注2） 食事の画像を自動的に認識し、食前後画像から摂食率をAIが解析し、表示するシステム。

以上